

第3次つるが男女共同参画プラン数値指針達成状況一覧

項目	目標	現状	達成状況	備考
基本目標1 人権を尊重した男女共同参画の意識をつくる				
「男は仕事、女は家庭」に対して「そうは思わない」と思う市民の割合	45.0%	62.5%	○	
「現在の社会は全体として男女平等である」と思う市民の割合	20.0%	17.8%	×	分野別では、特に政治の場、社会通念・風潮において、男性が優遇されているとする回答が多く、今後、それらの分野で平等性が高まるような取り組みが特に必要と考えられます。
DVを一般常識として知っている人の割合	70.0%	78.6%	○	
基本目標2 男女共同参画のための生活環境を整える				
「介護を要する老人や病人の世話を夫と妻の同程度で行いたい」と思う市民の割合	40.0%	75.8%	○	
基本目標3 男女共同参画のための仕事環境をつくる				
「現在の女性は働きやすい状況にある」と思う市民の割合	20.0%	37.5%	○	
介護休業制度を実施している事業所の割合	80.0%	74.1%	×	ワーク・ライフ・バランスとの関係が深い項目であり、今後も制度の周知等より一層の取り組みが必要であると考えられます。
基本目標4 男女共同参画の視点を取り入れた推進と進行管理の体制を構築する				
「現在の政治や経済に女性の意見が反映されている」と思う市民の割合	50.0%	31.3%	×	国際的にも日本は政治面、経済面の女性の参画が遅れていると指摘されており、様々な場で女性がリーダーシップが取れるように促進する施策に力を入れる必要があると考えられます。

※一覧の達成状況は令和元年度敦賀市男女共同参画に関するアンケート調査に基づきます